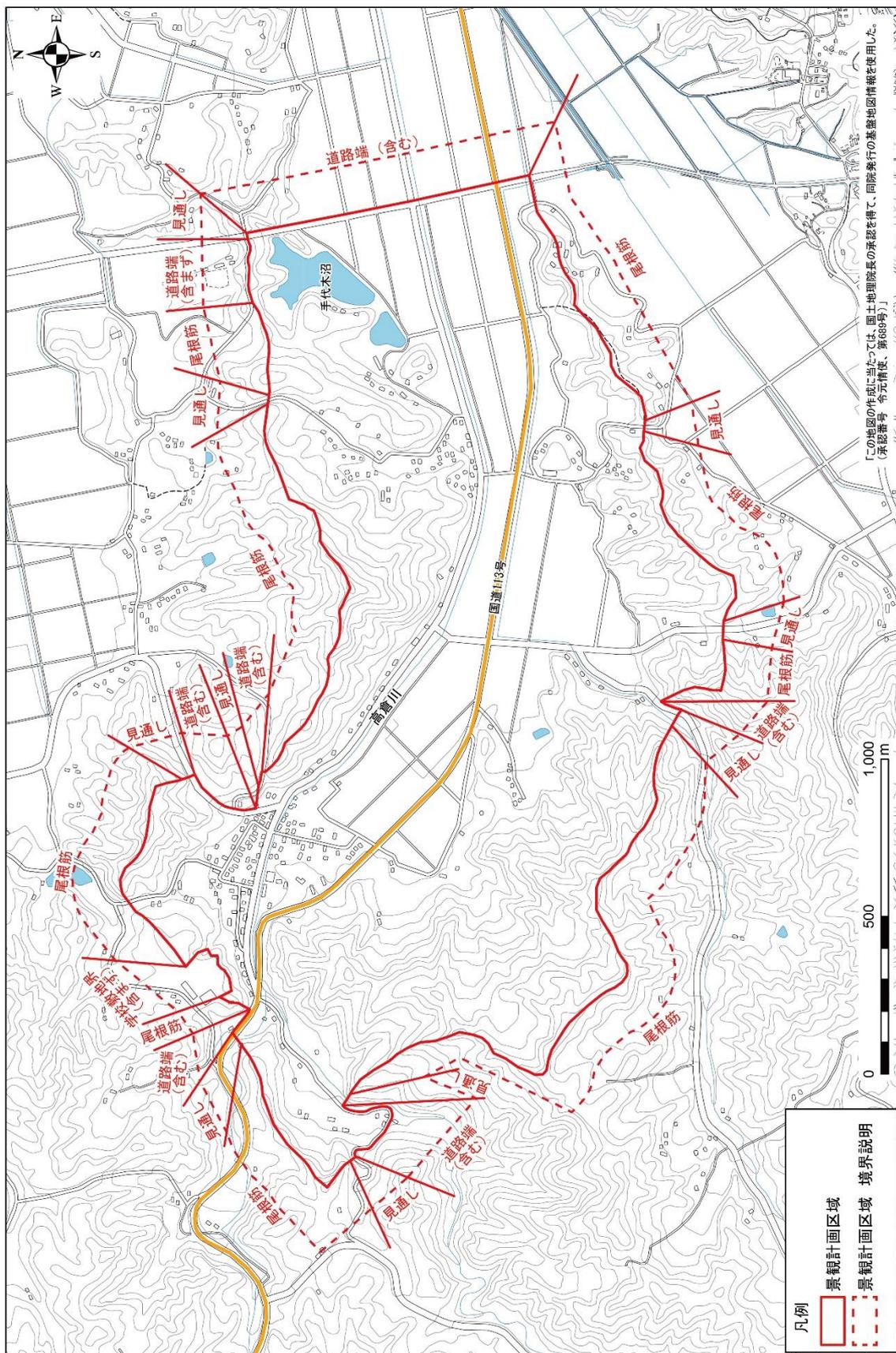


6 高倉川農村集落地区

(1) 景観計画区域

高倉川農村集落地区の区域図を以下に示します。



【区域の考え方】

高倉川農村集落地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none">高倉川を中心に広がる穏やかな農村・里山景観と、その中で行われている地域住民による取組が作り出す景観について、これからも大切に守られ、それぞれがさらに魅力的なものとなるような景観まちづくりのきっかけとすることを目的とし、景観計画区域を指定する。
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p>■仙南地域らしさを象徴する景観</p> <ul style="list-style-type: none">高倉川の穏やかな流れと集落の人々が農業の営みを行っている水田地帯、川沿いに植えられた桜並木と集落、里山が一体となった穏やかな農村景観が見られる。特に、国道113号からは、道路の両側に水田の広がりとその背後の丘陵地の山並みが見え、また道路と並行して流れる高倉川沿いに立ち並ぶ桜並木が一体となった景観が広がっている。周辺地域には高蔵寺が鎮座し、付近に高倉農村公園が整備され、憩いの場となっているなど、多様な要素による豊かな表情の農村景観が見られる。 <p>■地区固有の景観</p> <ul style="list-style-type: none">田んぼアートや桜並木の管理等、地元住民の活動による特徴的な景観が見られる。ため池である手代木沼では、周辺整備が行われ水田と一体となった水辺景観が見られる。
区域設定の考え方
<p>■基本的な考え方</p> <p>農村集落と背後の里山からなる穏やかな農村景観の中に、地元住民による桜並木の管理や田んぼアートの取組といった多様な景観形成の取組が展開する。農村集落による日常の営みと農を活かした景観まちづくりの取組を行っている高倉川沿いの農村集落において、景観のまとまりを有する範囲を対象に保全・形成を目指した区域を設定する。また、高蔵寺や高倉農村集落の中心的な集落地である西根地区も含み、地域振興に寄与する一体的な農村環境の保全・形成を目指した区域を設定する。</p> <p>■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）</p> <p>①桜並木が見られる高倉川</p> <p>高倉川の流れと桜並木は、本地区の景観を特徴づける重要な景観資源であり、景観の保全を図る必要があるため、区域に含めた。</p> <p>②里山に囲まれたまとまった水田と農村集落</p> <p>国道113号から見る事ができる水田や農村集落景観に配慮を求めるとともに、水田等の農地、集落地やため池である手代木沼、地元住民が実施する田んぼアートや植栽活動を行っている農地を一体的に保全できるよう区域を設定することにより、地域振興と農業という地域の人々の営みが生み出す景観形成を図るため、区域に含めた。</p> <p>③農村集落背後の里山</p> <p>高倉農村集落の外周を取り囲む丘陵地は、集落の景観の背後に広がる里山の景観として一体的に保全を図る必要があるため、区域に含めた。</p> <p>④高蔵寺周辺</p> <p>高蔵寺が鎮座し、付近に高倉農村公園が整備されており、集落内の大事な歴史的資源として地域の人々に親しまれているものであり、一体的な景観形成を図るため、区域に含めた。</p> <p>⑤西根地区の集落地</p> <p>高倉農村集落の中心的な集落地であり、一体的に景観まちづくりを進める必要があるため、区域に含めた。</p>

(2) 景観形成方針

高倉川農村集落地区における景観形成方針を以下に示します。

■ 自然景観の保全

- ・ 高倉川の環境を保全するとともに、水と桜並木が作り出す潤いと彩りある水辺景観の保全を図る。
- ・ 阿武隈山地から連続する丘陵地は、田園集落の周囲に広がる豊かな里山の景観として保全を図る。

■ 農の営み等とともにある景観の継承

- ・ 集落の営みの場である農地、ため池等の持続的な利用により、広がりともまりのある田園景観の継承を図る。
- ・ 集落地では、周囲の自然と調和した落ち着いたある田園景観の継承を図る。

■ 個性を活かす景観の創出

- ・ 田んぼアートや、菜の花・蓮華等の景観作物等を活用するなど、農地を活かした農村集落の景観形成を図る。
- ・ 高蔵寺周辺では、歴史的な資源を保全するとともに、周囲に整備された高倉農村公園と一体的に、訪れた人が心地よく感じられる落ち着いたある景観形成を図る。

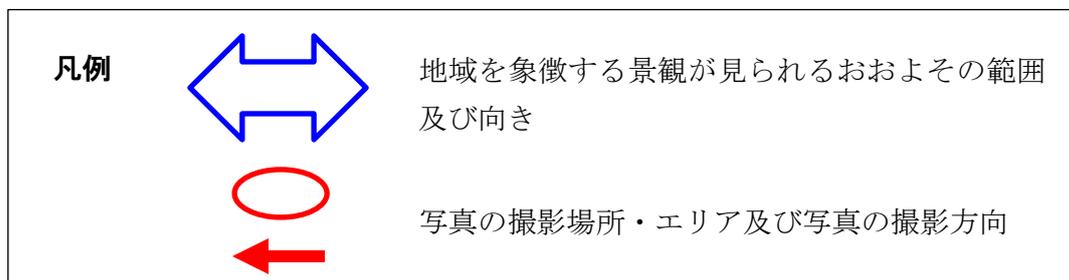
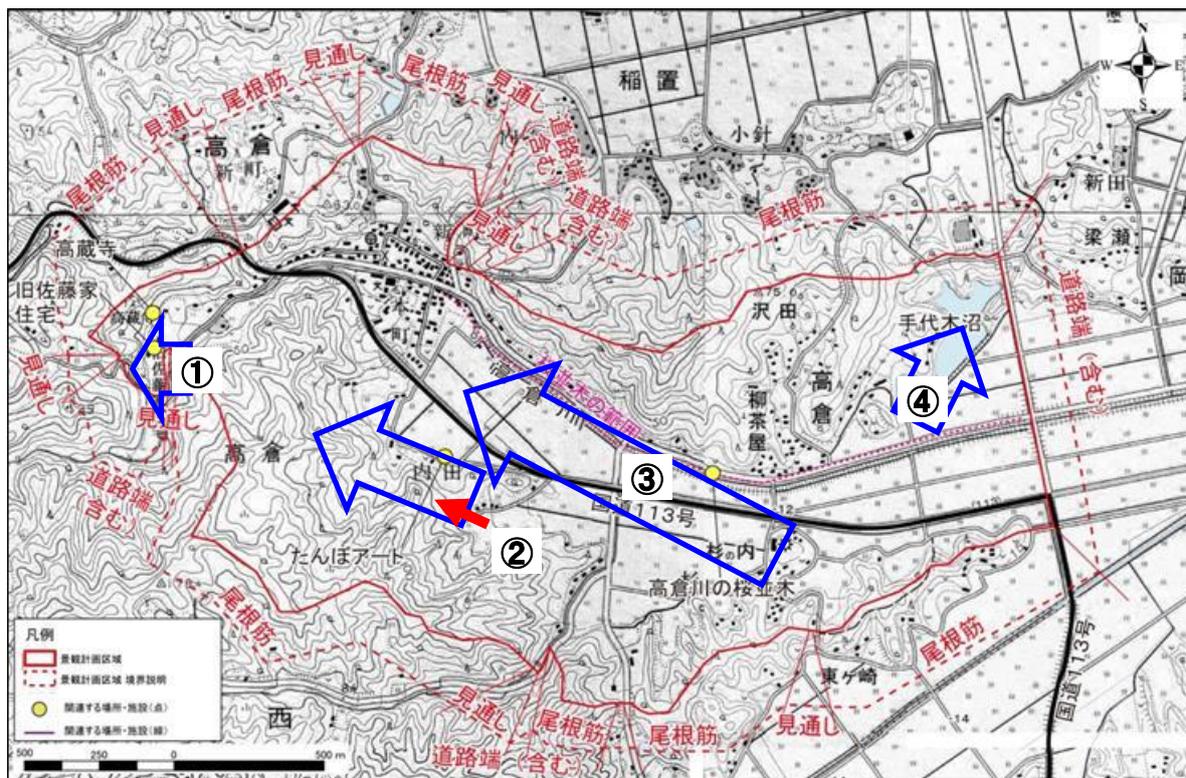
(3) 景観形成基準

高倉川農村集落地区における景観形成基準を以下に示します。

▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準 ※■: 地域の特徴を踏まえた基準
建築物・工作物	配置・位置	<input type="checkbox"/> 周囲の環境に配慮したゆとりある配置とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 桜並木周辺では、並木沿いの自然景観を阻害しない配置とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある景観の形成に努める。
	高さ	<input type="checkbox"/> 周囲の山並みを阻害せず、周囲と調和した高さとする。
	形態・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の里山や田園集落と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 <input checked="" type="checkbox"/> 高倉川の水辺では、桜並木と水辺を活かし周囲の自然と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。
	色彩・素材	<input type="checkbox"/> 既存の集落で多く見られる建造物と調和するよう、外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。
	外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 地域の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。
開発行為・土地の形質の変更・木竹の植栽伐採等の保全	周辺への配慮	<input type="checkbox"/> 周囲の自然環境、植生等に配慮する。
	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 <input type="checkbox"/> 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。
	既存樹木・樹林等の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 <input type="checkbox"/> 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種の選択に努める。 <input type="checkbox"/> 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="193 555 384 589">①高倉農村公園</p>	<p data-bbox="715 244 1034 277">●高蔵寺と高倉農村公園</p> <p data-bbox="715 293 1406 517">山あいにはひっそりと佇む高蔵寺は集落が誇る歴史的資源であり、付近に整備された高倉農村公園や高倉川、桜並木とともに、憩いの景観を形成している。また、付近を流れる高倉川ではホタルの繁殖にも取り組んでおり、季節の景観が見られる。</p>
 <p data-bbox="193 987 555 1021">②田んぼアート（図内赤矢印）</p>	<p data-bbox="715 613 991 647">●田んぼアートと里山</p> <p data-bbox="715 663 1406 983">当該地区の平坦部は水田地帯で、毎年地元住民によって取り込まれている「田んぼアート」と東側の花壇が、広がりのある水田地帯に彩りを添えている。田んぼアート南側には、当該地区をぐるりと囲む里山の麓まで山林が迫っている。向かいの里山とその手前の農村らしい集落が背景となり、一体的な農村景観を形成している。</p>
 <p data-bbox="193 1357 464 1391">③高倉川沿いの桜並木</p>	<p data-bbox="715 1046 1011 1079">●高倉川沿いの桜並木</p> <p data-bbox="715 1095 1406 1319">約120本の桜が川沿いに植えられ、高倉川の流れとともに春の農村らしい穏やかな景観が形成されている。高倉川に沿って水田地帯があり、北側は里山と農村集落が迫っており、向かいの里山までの一体的な農村景観を形成している。</p>
 <p data-bbox="193 1727 331 1760">④手代木沼</p>	<p data-bbox="715 1415 863 1449">●手代木沼</p> <p data-bbox="715 1464 1406 1688">周囲の水田への農業用水確保のため、約300年前に整備された人口の沼で、沼の北東側には桜が植えられ、冬は白鳥の飛来地となり、地域住民のみならず観光客も訪れる憩いの場としての穏やかな水辺景観を形成している。</p>

